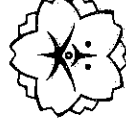


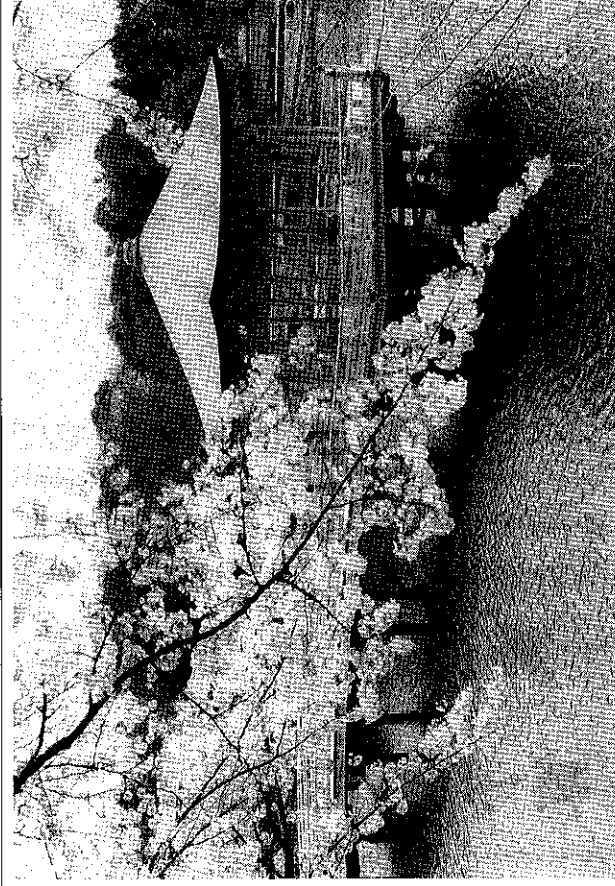
No.38

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
編集委員 会

奈良市議会だより



〒630 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎ (0742) 34-4734



桜に映える新浮見堂 (奈良公園鴨池)

開会に当たり、市長は、就任して一年六か月を迎える。この間、使命感と責任の重大さを心に秘め、「やさしさとふれあいのあるまちづくり」に熱い気持ちで取り組んできた。今後初心を忘れることなく、市民が市政に参加し、関心を持っていただけるまちづくりに全力を傾注していくと所信を述べました。また、市政に関し、ならまちの保存について、地元と一定の合意形成が図られたので新年度早々都市景観形成地区として告示したい。また、彫刻のあるまちづくり事業として平成六年三月、大湖池公園副緑地帯に

3月定例会

平成六年三月定例会は、三月四日から二十四日までの二十一日間の会期が開きました。審議の中心となった平成六年度予算案は、総額で千七百一億八千五百五十万円、前年度に比べ四・一％の増、一般会計では九百九十八億円で三・二％の増とされていますが、特別減税や景気の低迷などによる税収減等により財政調整基金の取り崩しを図るなど厳しいものとなっています。

「特別減税」減税補てん償で対応 平成六年度予算案可決

彫刻家山口克昭氏の作品「綱引き」を設置したとの報告をしました。今議会で審議の中心となった平成六年度予算案について市長は、景気低迷の影響により主たる財源である市税の伸びは期待できず、加えて税制改正により大幅な減税が実施される。歳出面では徹底した見直しを図り、経常経費は、原則マイナス〇％シリングを実施した。また緊急性、必要性の高いものを選択し、財源配分に努めたが、なお不足する額は減税補てん償の発行、財政調整基金の取り崩し等により収支均衡を図った。社会経済情勢は厳しいが、「やさしさとふれあいのあるまちづくり」を行政理念とし、「人にやさしく」「事にやさしく」「物にやさしく」の三本柱をもって、「歴史と自然と生活文化が織りなす、創造と交流の世界都市「奈良」を目指した施策を積極的に図ることとしたと説明しました。

今定例会には、旧年度関係で報告一件、議案二十件、新年度関係で報告十一件、議案三十一件、人事案件で四件が提出され十人の議員による質疑・一般質問を行った後いずれも原案どおり可決しました。なお、総額千七百一億八千五百五十万円の予算案を初めとする新年度関係議案については、十五人で構成する予算特別委員会を設置しての審査も行いました。

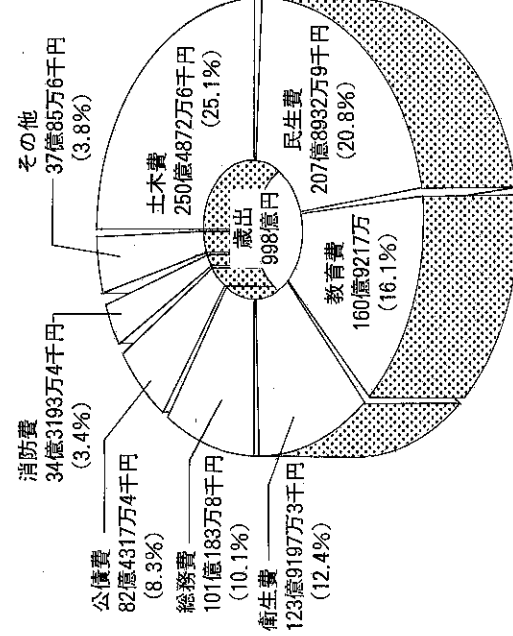
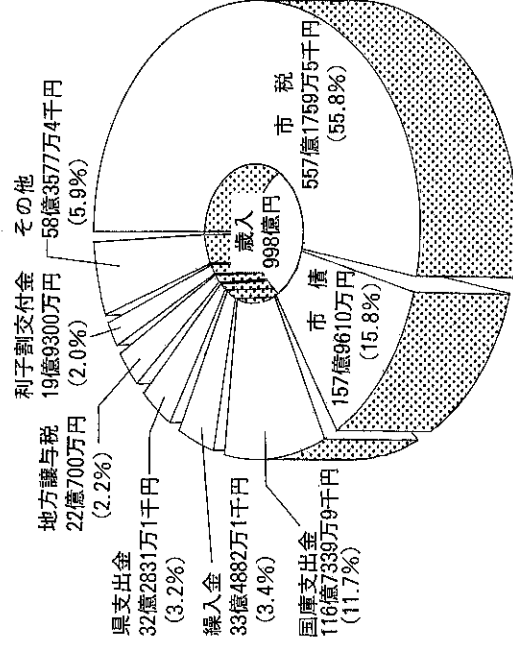
一般会計998億円 前年度比3.2%の増

平成六年度予算案は、一般会計が九百九十八億円で対前年度比三・二％増、十特別会計の合計は五百四十六億九百三十万円、対前年度比五・〇％の増、公営企業三会計の合計は百五十六億九千九百二十万円、対前年度比六・九％の増、これら全

また、人事案件では、固定資産評価員に助役の桐木弘氏の選任を、教育委員会の委員に久保田正二氏を、固定資産評価審査委員会の委員に岩崎弘氏と野呂誠氏をいずれも再任することに同意しました。

平成六年度予算案は、一般会計が九百九十八億円で対前年度比三・二％増、十特別会計の合計は五百四十六億九百三十万円、対前年度比五・〇％の増、公営企業三会計の合計は百五十六億九千九百二十万円、対前年度比六・九％の増、これら全

一般会計予算のあらまし



会計の合計は千七百一億八千五百五十万円、対前年度比四・一％の増となっています。一般会計歳入では、市税が五百五十七億一千七百五十九万五千円と昭和五十一年度予算以来十八年ぶりに前年度を下回り、対前年度比七・九％の減、市債が百五十七億九千六百五十万円、対前年度比八・二・六％の増、自主財源合計は六百三十二億六千五百八十四万

一千円で対前年度比八・五％の減となっています。一方、歳出では、土木費が二百五十億四千八百七十二万六千円で全体に占める割合は二五・一％と一番多く、以下民生費二〇・八％、教育費一六・一％、衛生費一二・四％の順となっています。以下は、重点施策項目ごとの主な新規事業等です。

- 一、豊かな人間性と市民文化を育む社会をめざして
 - ・仮称生涯学習センター基本設計等
 - ・学校園活性化対策、国際交流学習
 - ・仮称西部生涯スポーツセンター屋内施設建設
- 二、うるおいのある快適で安全な社会をめざして
 - ・近鉄西ノ京駅舎地下化関連事業
 - ・都市計画マスタープラン策定
 - ・冷蔵庫フロンガス回収装置設置
- 三、やすらぎと生きがいのある社会をめざして
 - ・仮称柳生園保育園建設
 - ・老人ホーム仮称和楽園建設
 - ・実施設計、用地造成
 - ・精神障害者小規模作業所運営補助
- 四、人権が尊重されるふれあいのある社会をめざして
 - ・人権問題啓発活動の推進、街頭啓発、講師団講師編成
 - ・東之阪住環境整備事業
 - ・情報公開及び個人情報保護制度調査
- 五、活力と魅力ある地域経済を培う社会をめざして
 - ・関西国際空港内観光案内所整備、運営
 - ・中小企業資金融資制度融資枠の拡大

陳情

今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
▽病院給食の自己負担化に対する陳情書
陳情者 〓
奈良市腎臓病患者友の会 会長 川辺章敬氏

本会議

厳しい経済情勢での予算

福祉施策など充実

三月八日、九日、十日の本会議では十人の議員が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、厳しい経済情勢の中で編成された平成六年度予算案を中心に、地方分権の推進、情報公開の制度化、福祉施策の充実などの諸施策について質問しました。以下は、質問と答弁の要旨です。

財政

前年度比八三・六％増 六年度予算の市債

問 新年度の予算編成方針は。また、一般会計の市債が前年度比七十二億円、八三・六％の増となった要因は。
答 将来都市像実現に向け、都市基盤整備を進める外、都市づくりは人づくりの観点に立った子供たちの健全育成、環境保護や高齢者対策など、

優しさと触れ合いを持った施策に重点を置き編成した。
市債については税制改正による減税補てん償四十八億円と財源不足に対処しての財源対策債二億五千万円を計上したのが主な要因である。

個人負担軽減検討 土地改良事業で

問 農業用水路や老朽ため池の補修など市単独土地改良事業に要する個人負担の軽減を図りたい。また国営大和平野土地改良事業の個人負担分を市で肩代わりできないか。
答 市単独土地改良事業は、事業費の高騰や公益的性格を持つといった観点から、今後さらに補助対象枠の拡大や地元負担の軽減について検討したい。国営大和平野土地改良事業についても農業負担のない自治体もあることを踏まえ

答弁

前向きに検討したい。

管理職で滞納整理

問 市税の滞納解消に管理職による徴収を発表しているが、その取り組みは。
答 滞納への取り組みは、

五年度から収税課に特別整理班を設置して一定の成果を上げてきた。しかし、また滞納額は三十数億円に上っている。負担の公平と財源の確保のために、管理職のボランティアにより時間外勤務で滞納整理を強化したい。

行政姿勢

八年度に条例化 検討中の情報公開

問 情報公開制度の進捗状況は。また、公開の基準、実施機関、除外規定はどうするのか。今回の懇話会や他の審議会の公開は。
答 現在、片内検討委員会

の基本的な考え方、内容等について検討結果報告書のまとめを行っている。六年度に学識経験者、市民代表による懇

話会を設置し、七年度に提言を得て八年度に条例化の予定である。実施機関に議会や市の外郭団体を含めるかの判断は個々にゆだねることになる。適用除外規定は、個人のプ

ライシイ等考えられるが、具体的に例示したい。審議会の公開は、個々に決定すべきものである。懇話会は、提言を公表するので会議の公開はしない方針である。

すべての職種で撤廃望む

職員採用時の国籍条項

問 市の職員採用に際し、すべての職種に国籍条項撤廃の考えは。
答 保母職、保健婦、看護婦、栄養士、歯科衛生士と順次撤廃してきた。一般事務職等については、「公務員の当

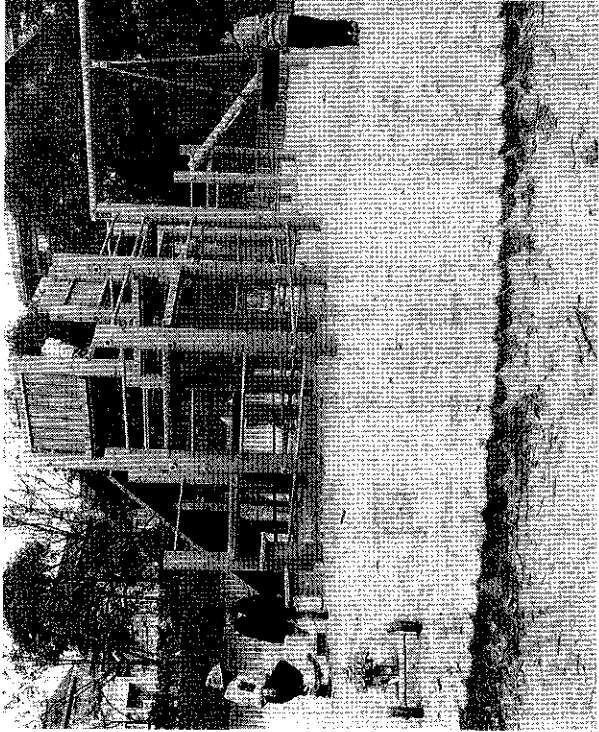
然の法理に照らして、公権力の行使または地方公共団体の意思の形成への参画に携わる者については、日本国籍を有しない者を採用することは適当でない」との自治意見に基づいて受験資格を定めてい

都市整備

公園の砂場管理

問 公園の砂場の管理はどうしているか。
答 現在、市が管理している都市公園三百三十四カ所の

うち、二百三十九カ所に砂場を設置している。砂場は子供たちが土と触れ合う場として大切な施設であり、維持管理には特に力を入れていかなければならない。五年度は二十一カ所の砂の入れ替えを行っ



子供が土と触れ合う公園の砂場

る。しかしながら、国の動向他都市の動向、あるいは当該者の声などに留意しながら職種の拡大に努力していきたい。

地方分権は 時代の潮流

問 地方分権に対する考え、課題と効果、地方分権特例制度の検討結果は。
答 地域の個性や主体性を発揮しつつ、その文化、経済の潜在力を十分活用できるような分権型行政システムが必要である。今や地方分権は時代の潮流であり、地域社会の

発展のためには、地方分権の推進の主体性の確保などであり、効果は、市民のニーズを的確に把握し、迅速に行政施策に反映させることができることではないか。
地方分権の一手法であるバ

イロット自治体制度導入は、都市計画、教育、福祉など多岐にわたっているが、適用困難なものもあった。迅速な事業化の展開が望めるものについて調査を行っている。

している。しかし、一部の者の心ない行動により、犬や猫のふん、尿の捨て場となり、砂場の利用者に非常に迷惑をかけていて、維持管理にも苦慮している。
今後は定期的な巡回や点検を行うとともに、順次、砂の入れ替えを行い、周辺地元の方に清潔な砂場の保持について御協力をお願いし、子供たちの衛生的で安全な遊び場の確保に努めたい。

京奈和道から名阪へ 東部の幹線道路計画

問 仮称奈良阪川上線の計画が進められようとしているが、東部地域活性化には基幹道路が必要だ。京奈和自動車道から木津南、東部地域を通り名阪に抜けるルートを考えてはどうか。
答 東部の活性化には、広域的な視野に立った道路建設

が必要であり、仮称奈良阪川上線もその一環として計画し、地元説明会も行っている。今後も説明を行い理解を得ながら進めていきたい。名阪と国

道163号線を結ぶ路線は、活性化のためぜひ必要であり、国、県と協議をしていきたいと考えている。

景観形成地区指定

問 ならまちの都市景観形成地区指定後の対策は。
答 ならまちの都市景観形成地区の指定に向けては地域の住民の大きな協力を得ている。四月早々には指定を行いたい。

指定後は、建築中の仮称芸能館を初め、地場産業育成のための伝統工芸工房、郷土

世界建築博

文化の薫り高い 木造建築物も

問 世界建築博の第一会場となるJR奈良駅周辺地区の整備事業が当初より大幅に遅延している。平成十年までにどのような施設が立地されるのか。また奈良には世界に誇り得る木造建築物が多い。建築博に取り入れてはどうか。
答 現時点で判断すると既に完成しているコミュニティ住宅に加え、三井サンガーデンホテル、西口地下公共駐車場と駅前広場、そして仮称市民ホールができてくるものと考えている。ただ市民

ホールについては、区画整理事業の訴訟の関係や街区内家屋の補償等で若干の難航を示しているが、ぜひとも早期に完成をさせたい。

奈良には十年以上の木造建築物が十一もあり文化の薫る木造建築物を取り入れた世界建築博覧会にしたい。平成八年には、平城宮跡の朱雀門の復元、専院庭園の整備が完成し、新しいシンボルができるということで大衆期待をしている。

質問と

高齢者福祉

行政、民間の役割は 計画推進の体制

問 老人保健福祉計画の推進体制について、行政がやるべきことは何か、民間の医療機関や福祉施設に何を望むのか、住民参加としてどんなことを期待しているのか、また計画推進のために機構改革をどう考えているのか、ボランティア活動の基本的な位置づけは。さらに、ホームヘルパーの量と質の確保、待遇改善の考えは。

答 行政は、基礎的、専門的福祉サービスの実施や入所措置等の、社会福祉協議会は、地域福祉の育成、支援等の、また住民は、おのおのの地域において積極的に福祉活動に参加される等それぞれの役割がある。三者が有機的に、積極的に連携することが大事である。機構については、でき

るだけ早い機会に検討したい。ボランティア団体は、地域福祉活動を推進していく上で必要不可欠であり、平成六年度完成のボランティアセンターを中心にして社会福祉協議会を育成していきたい。ヘルパーは、登録ヘルパー、市職員、各施設のヘルパーを合わせて平成十一年までに目標三百人を達成するよう努力したい。待遇改善についても、サービスに徹していただくためには考えていかなければならないと思っている。

高齢者給付金検討 在日外国人に

問 昨年、在日外国人障害者福祉給付金制度をスタート

させたが重度障害者を対象としたため現在受給者がいない。重度を外し対象を広げるべきではないか。またこの制度とセットで対応すべく在日外国人高齢者給付制度を創設し無年金者の対応をしないか。

答 国民年金の障害者基礎年金受給要件に合わせたものに改正すべく早急に見直したい。在日外国人高齢者給付金については、現在検討を進めている。具体化に向け引き続き検討したい。

市民生活

コメ不足深刻 学校、保育園給食は

問 今の米不足は育ち盛りの子供を持つ親にとっては深刻である。学校や、保育園の給食はどうなるのか。

答 学校の米飯給食には国産米を使用するとの決定が食



保育園での楽しい給食（京西保育園）

糧行でされている。一部、主流米を使用することで、月額十円程度の値上げになると見込んでいるが、六年度の給食費は据え置くよう努めた。

問 保育園の米等、給食材料の調達は何国ごとに行っている。

答 三月からは国産米のみの購入が難しくなり、外国産米の購入をせざるを得なくなった。できる限り国産米の混合率の高い米を購入するように努める。輸入米は国レベルで三回にわたりカビ毒及び四十二項目にわたる残留農薬検査を、

教育

推薦入学制度導入を 一条高校普通科に

問 市立一条高等学校では既に外国語科に推薦入学制度を導入しているが、普通科にも広げてはどうか。また、ハイテク時代を担う人材の養成を考え、理数科系の学科を新設する考えは。

答 普通科への推薦入学制度は社会情勢の変化や文部省の通知により全国的にも年々導入が進んでいる。一条高校

の一般入試は、県立高校と同一期日、同一日程で実施している。県教委とも調整を図り、早期導入に向け取り組みたい。理数科系学科の設置については、生徒の個性を最大限に伸ばさせるためには、多様なコースを考える必要がある。学校の意見を取り入れながら設置について検討していきたい。

教育費税外負担の解消を

問 義務教育費税外負担の軽減について新年度予算でどう対応したのか。税外負担解消の推進計画を聞きたい。

答 義務教育における保護者負担の軽減は昭和四十三年度から取り組んできたが、抜本的な解決のため、公費、私費の負担区分を明確にする必要があるとの考えで小・中学校標準運営経費を策定した。平成六年度からおおむね五年をめどに保護者負担軽減措置を講じていきたい。

大きい地元の犠牲 史跡大安寺旧境内

問 史跡大安寺旧境内は、二十六秒と広大な地域指定である。土地の公有化も進まず十分な補償もなく、この二十五年間地元住民は大変な犠牲を強いられている。抜本的な対応が必要ではないか。

答 当時の指定の方法は今から考えると、史跡保存の趣旨を無視した一面のあったことは否めないが、この遺跡に対する国の保存の姿勢の強さがうかがわれる。これまでから国に対して買い上げの促進

や予算の満額要求をしているところであるが、移転補償や用地費が非常に少ないことなどについて、今後もそこに住む人だけが犠牲になるというこ



史跡大安寺旧境内指定地域（白線内）

ということのないよう市としても考えていかねばならないし、国にも強く要望し

さらに卸業者から小売業者へ間に奈良県が十六項目の残留農薬検査を行っている。基準を超える農薬が検出された場合には出荷停止、回収等の措置がとられることになっており、安全性については確保されていると考えている。

児童福祉

問 子供専門病院の必要性

が叫ばれ県に要望されている。市は独自で設置してもいいのではないかと考えられる。せめて県に対して成分の仕事の負担を軽減するなどの具体的協議に入っていく考えはないか。

答 厚生省は、都道府県に

総合母子医療センター機能を整備していくことが望ましいと提言している。

問 県は、新年度から県立医科大学附属病院の小児治療室等の充実を計画しているが、市としても母子専門病院の必要性は認識しており、県に要望したいと思っている。

市の応分の負担については、検討、協議させていただきたい。

西部地域に 夜間保育園

問 看護婦など夜遅くまで働く保護者対策として夜間保育園を開設する考えは。

答 平成三年十月に三十名定員の夜間保育園が白臺寺町に開設された。夜間保育園の充実を図るため、西部地域に一カ所建設をゆだねる法人を物色しているところである。ぜひとも夜間保育園の開設を実施していきたい。

障害者福祉

福祉の まちづくり条例

問 奈良市内では、バスや近鉄駅などでも車いす用の施設、設備がない。条例をつくり企業にも呼びかけるべきかと思うが、その心構えと考え方を知りたい。

答 福祉のまちづくりの基本は障害者、高齢者を初め、すべての人々が安心して自由に出かけられるまちづくりの整備、促進を図ることである。

問 県においても来年度以降の条例化に向けて検討されており、今後とも十分連携を図りながら検討したい。近鉄奈良駅の施設整備については関係機関に対し実現していただくよう努力していきたい。またその施設が無い時は、市民の皆様が手厚く、優しさを持って対応していただくよう市民意識として取り組んでいきたい。

分離、新設で対応 都南中過大校解消

問 都南中学校の過大規模解消に対する取り組みを聞きたい。

答 都南中学校区には、五小学校区がある。通学区域検討委員会を二小学校区と三小学校区に分割して新設する方向で審議をいただいている。早急に分離新設を決定し用地交渉に入りたい。校区の編成等地域の皆様の御協力を得ながら進めたい。

予算特別委員会の審査概要

予算特別委員会は一般会計など十四会計の平成六年度予算案及び市職員定数条例の一部改正など十七議案の計三十一議案を審査し、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。審査の主な内容は、次のとおりです。

文化村計画縮小

問 中国文化村建設計画の規模縮小の理由と影響は。

答 シンボルゾーンは、当初計画約五十軒が、年数経過等による中国との関係、用地取得の関係で二十七軒に規模が縮小された。市の新しい文化観光資源と位置付けており、出資した姿勢に変わりはない。

住宅開発認めない

問 東部ゾーンにおける大規模開発に関する基本方針では、原則的に住宅開発は認めないとなっているが、変更はないか。

答 方針は基本的に変わらない。

ポイ捨て禁止条例

問 ポイ捨て禁止条例制定の今後の取り組みは。

答 歩くのが楽しくなるよう、なきれいなまちづくりを目指すもので、美化推進を目的に先進市を調査・研究し、具警察等と調整を図りながら九月に成案したい。

各種契約の整理を

問 各種契約の管理、指導

を含めた整理が必要では。

答 目的に応じ各部署で執行している状況であるが、より透明性・公平性を確保する意味から入札執行の一元化を図ることも必要と考える。今後、入札制度検討委員会で検討したい。

行政町名一元化

問 行政町名庁内一元化の今後の対応は。

答 庁内に一元化推進委員会も設置しており、市民たより等で啓発し市民の理解と協力を得ながら、まず公文書の発送から段階的に取り組んでいきたい。

医療廃棄物の処理

問 環境清美工場から医療廃棄物が発見されたが。

答 これまでにも奈良県都市清掃協議会から、また市からも県に指導等を要望している。事件後、各医療機関には適正処理の趣旨徹底を図るべく、医師会等に依頼した。今後、医療従事者の研修会の開催も要請したい。

社会福祉協議会

問 施設の管理やホームヘルプ事業等を市から受託して

いる社会福祉協議会は、少ない人員でどう市民のニーズにこたえていくのか。

答 行政が直接行う部分、社会福祉協議会が担当する部分をはっきり決め、現在検討している。今後、体制を充実していく中で互いに協調して取り組んでいきたい。

ならまち振興財団

問 ならまち振興財団が果たす役割は。

答 ならまちの魅力を生かしながら、地域文化の振興や伝統的な文化、芸能、工芸等の発展継承を図ること、な



ならまち格子の家 (元興寺町)

予算特別委員

- 委員長 吉田 文彦
- 副委員長 尾谷 進
- 上原 尚 船越 義治
- 岩城 明 原田 栄子
- 山本 清 福西 靖
- 中西 義次 福住啓之亮
- 大谷 督 樹杉 和彦
- 横田 利孝 扇田 善次
- 橋本 和信

一時的保育事業

問 一時的保育事業の取り組みは。

答 母親の状況により一週間に約三日、十人程度を預かる方法と、保護者の傷病や冠婚葬祭等一時的な対応として一日三人程度を考えている。いずれも保育時間は八時から

十七時、保育料は給食費別の日一人千四百円で新年度から実施したい。

除草剤の使用実態

問 胆のうがんに地域的な相関関係が認められる初期除草剤クロロニトロフエン剤の使用実態及び国産米の薬剤検査は。

答 市農協では十年前から販売をしておらず、昭和五十九年からの水質測定にも検出されていないので実質的には使用されていないのではないかと考える。国産米の薬剤検査は一般的には実施していない。

農家の生活安定を

問 農家の生活安定を図るための休耕田対策は。

答 国策との関連において難しい面もあるが、農協との連携等行政として農業振興に当たるべきものを見いだして真剣に取り組んでいきたい。

学校園活性化対策

問 各学校園の活性化対策推進の方法を聞きたい。

答 各学校園において主体的な運営を創出工夫し、すべての子供たちが楽しく学べるようになるよう広く柔軟な取り組みをイメージしている。事業は校長会に委託し、内容の指導・助言を行いたい。

都市計画

問 都市計画マスタープラン策定の進め方は。

答 都市計画法の改正に伴い新たに組み入れられた。従

来の県の大和都市計画を市独自のものとしてマイクロ化することにより、将来の投資に対し市民、行政が自ら責任を持つものである。法の趣旨に従い、基本的・具体的な方針について市民の意見を聞き、今後のマスタープランに反映したい。

登美ヶ丘1次開発

問 登美ヶ丘の近鉄1次開発に伴う主要幹線道路の整備は。

答 奥柳登美ヶ丘線は、整備中の奈良西警察署付近から北側、延長三百三十メートルの区間がある程度めどがついた時点で北側の整備を図る。また、あやめ池登美ヶ丘線、県道枚方大和郡山線は、近鉄1次開発完了予定の平成十年から十一年にはほぼ整備が終わる。

水源域にゴルフ場

問 計画中の大和高原カントリーゴルフ場の三割を超える面積に、簡易水道の水源区域がある。安全な水の供給をどう図っていくのか。

答 環境影響評価を実施の上、水源に影響が出ないように最適な対策を講じてもらうとともに、ゴルフ場の土地利用について事前協議をしていきたい。

用地購入の経過

問 奈良阪町地内の福祉施設用地購入の経過は。また、登記簿上の名義人に確認する等慎重にすべきでは。

答 千五百三十三・〇三平方メートルを一億八千五百三十三万二千円で購入した。平成二年九月

中ごろ所有者と接触し、現地で境界立ち会いの上、面積を確定、手続完了後、同年十月

十八日に売買契約をした。価格は不動産鑑定価格を参考に決定した。

- ▽市立保育所設置条例の一部改正
春日保育園の保育定員百六十名を二百名に増
- ▽市国民健康保険条例の一部改正
葬祭費二万円を五万円に引き上げ
保険料賦課限度額四十二万円を四十六万円に引き上げ等
- ▽市違法駐車等の防止に関する条例の制定
自動車等の違法駐車等防止施策を積極的、継続的に推進するための条例制定
- ▽市立学校設置条例の一部改正
田原小学校和の川分校、大柳生小学校大平尾分校の廃止

その他 3月議会で決まったこと

- 部改正
- 定

議会日誌

- ★一月
- 10日 議会だより編集委員会
- 21日 政治倫理条例検討特別委員協議会
- 28日 政治倫理条例検討特別委員会
- ★二月
- 1日 議会だより第97号発行
- 16日 総務財政委員会
- 18日 教育厚生委員会(現地視察後委員会)
- 23日 経済水道委員会
- 24日 企画建設委員会
- 25日 内示会
- ” 幹事長会
- 28日 議会運営委員会
- ” 都市基盤整備特別委員会
- ★三月
- 4日 本会議(三月例会開会)
- 8日 本会議
- 9日 本会議

編集後記

一面の写真には建て替えられた奈良公園蔵池(さきいけ)の浮見堂を取り上げました。奈良公園の観光名所として、また市民の憩いの場として親しまれていたこれまでの浮見堂は大正五年の建築で老朽化が目立っていたため、奈良県が池周辺の整備の一環として建て替えたもの。池に映える新しい浮見堂と満開の桜を格好の題材と、絵筆を握る人、カメラを構える人でにぎわっていました。